

令和5年度 環境保全報告書

株式会社 J-オイルミルズ神戸工場

1. 公害防止対策に係る報告

目標達成のために講じた措置・対策

目標項目		目標達成の措置
大気汚染防止対策	ばい煙の排出規制の遵守	◆ボイラーの適正な維持管理を努める。 神戸工場は、該当する設備がなく、対象外。
水質汚濁防止対策	排出水の水質管理及び汚濁負荷の総量管理	◆排水処理施設の適正な維持管理に努める。 神戸工場は、該当する設備がなく、対象外。 甲南ユーティリティ株式会社が、管理処理。
悪臭防止対策	悪臭の防止および法令規制の遵守	◆「悪臭防止法」及び「環境の保全と創造に関する条例（兵庫県条例）」に定める基準を遵守する。 さらに、神戸市悪臭防止暫定指導細目の目標値を遵守。
産業廃棄物対策	廃棄物の処理及び清掃に関する法律などの法令の規制を遵守	◆産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度、廃棄物の保管・処分基準を遵守し、法定の記録・報告を実施。
	廃棄物の発生抑制・再利用	◆産業廃棄物の再資源化及び減量化に関する処理計画を策定し、適切に市へ報告を行った。 ◆廃棄物の再利用を促進することで、削減した。

2. 公害防止対策以外の環境保全に係る報告
令和5年度の環境保全活動に係る具体的実施内容

	分野	項目	目標	達成状況 (2023年度実績)
1	産業廃棄物の 再資源化推進	再資源化率向上を目指す	99.99%以上	達成 (99.99%)
2	自動車対策	社用車のハイブリット	2台	達成
3	従業員教育	環境保全に関する 社員集合教育 環境委員会等での取組み	100人/年 毎月実施	「テーマ」 サステナビリティセミ ナー2023 企業と水の 知られざる関係～JOYL 事業の「水リスク」を考 える 達成
4	地域社会への 参画	工区共同による清掃活動 事業所周辺の清掃活動	1回/月 1回/年	達成 未達 雨天につき、4月延期

3. 地球温暖化対策に係る報告

ア. 電気・燃料等の使用量、排出量

活動の区分	燃料の 種類	単位発 熱量 (GJ)	2013年度 使用量	2023年度 使用量	単位	換算 係数	CO2排出量(t)	
							2013 年度	2023 年度
燃料の 使用	都市ガス	45.0	1,184	914	千 N m ³	0.0136	2,715	2,051
	その他	—	—	—	—	—	—	—
電気事業者からの供給 電力 (関西電力)	—	—	31,508	24,483	千 kWh	0.28*	8,822	6,855
電気事業者からの供給 電力 (一般企業**)	—	—	0	0	同上	0.257	0	0
熱供給事業者**からの 供給熱利用 (10k 蒸気換算)	—	—	381,055	312,431	蒸気 t	0.018※ (※1)	11,889	5,624
合計	—	—	—	—	—	—	23,426	14,530

* 係数は、神戸市の CO₂ 排出係数 0.28 を使用

**電気事業者からの電力供給 (一般企業) 及び熱供給事業者・・・甲南ユーティリティ株式会社

(※1) 甲南ユーティリティ株式会社、最新換算係数 (0.018) を使用

イ. 基準年度及び前年度の二酸化炭素排出量結果（目標・達成率）

【削減目標】 2030年に2013年比50%削減

	排出量			目標達成率（%）
	基準年度 （2013年度）	前年度結果 （2023年度）	目標 2030年度 （2013年比50%減）	
二酸化炭素（t）	23,426	14,530	11,713	81%

- 蒸気購入元：甲南ユーティリティ株式会社のボイラー蒸気発生燃料が、
都市ガス から 木くず混合（植物バイオマス燃料）に変更。（2021年度より）

ウ. 目標達成のために講じた措置・対策

措置の区分	具体的対策	削減目標
エネルギー 使用の合理化	搾油・精製工程における省エネプロジェクト計画の実行	CO2 排出量（原単位） 2030年までに 2013年比の50%削減
	放熱箇所の改修によるロス削減	
	製造工程・充填工場のコンプレッサー省電力	2050年までにCO2 排出実質ゼロ
	室内温度管理適正化	徹底による電力使用量削減
	休み時間等の消灯徹底	
	照明のLED化	
再生可能 エネルギー 導入の推進	甲南ユーティリティ株式会社から バイオマス燃料を使った蒸気の購入	バイオマス燃料を使った蒸気の 購入を継続
	クリーン電力の購入	電力量の10%

以上